

インターンを待つ 海外人財に インタビュー

氏名：ディーパアプリアント
 年齢：32歳
 出身国：インドネシア
 出身地：スラバヤ市
 出身大学：ドクターストモ大学
 日本語歴：7年
 レベル：日本語能力試験N2
 趣味：日本の技術のドキュメンタリー番組鑑賞

海外人材のことがもっとわかる

SERIES

MarimoHuca

Marimo Human Capital

marimo
holdings

(学生時代のインターン時)

全ての行動に目的を定めて、行動することが習慣です。

interview

ドクター・ストモ大学
日本語学部

ディーパさん

日本に行くのではなく、日本に戻る

私は実は2つの大学を卒業しています。最初は、国立の工科大学へ入学し生産管理や人材管理を学びました。その後、インドネシアのスラバヤにある日本企業に勤め、生産管理を主に行っていました。係長に昇進したころ、やはり日本の“モノづくり”の考え方は凄いと感じはじめました。その頃から、日本の技術のドキュメンタリー番組を見るのが趣味になり、興味は益々深くなっていき、現状に満足できなくなってきました。

私は祖父が日本人で日本人の血が入っています。ですので、『日本に行って働くのではなく、日本に戻って働こう!』と決めました。ただ、当時は生産の知識や経験はあっても、日本語が全く話せなかったため、会社を辞めてドクターストモ大学の日本語学科に入学し日本語を学び始めました。私は

理系、文系の両方を卒業した珍しい人物だと思います。それぐらい日本へ憧れを抱いていました。

せっかく日本に来たのだから

大学3年時に北海道の阿寒湖のホテルにインターンシップへ1年間行きました。仕事はレストランのウェ이터です。『とにかく日本語を磨く』これを必ず念頭に置き、全ての行動をそれに注ぎました。このインターンシップには5名のインドネシア人が参加していましたが、他の4名との接触は最小限にして日本人と接することに時間を注ぎました。例えば休みの日は交番に行き、周辺の清掃などを手伝って警察官と仲良くなり、会話を磨くように心がけました。地域の日本人の方々とも交流が多く持ったので、この1年間のお陰で、私の日本語は格段にレベルアップできたと思います。

コロナの期間をプラスに考える

コロナの前に、マリモのプログラムで非破壊検査を事業とする企業様と面接の機会を設けて頂き、一次面接に合格しました。その後、インターンシップ選考を行う前に、コロナが発生して日本に行くことが出来なままです。非常に不運だと思う事もありましたが、ただ企業様も待って頂けているので、その期間を無駄にしない為、非破壊検査の勉強に自主的に取り組みました。面接を受けた際は知識がありませんでしたが、勉強をして非破壊検査の事がわかってきました。コロナで日本に行けないのは確かに悔しいですが、考え方を変えて、準備期間が増えたと考えて勉強を疎かにしないようにしています。

人は考え方で全てが決まると思います。私はこれまで自分の行動に目的を持ってやってきましたが、コロナで過ごす期間も目的は忘れずに、有意義な時間を過ごせば光は見えてくると信じています。



日本語の会話も怠らない



日本語を使う機会がない皆さんのために

9月2日 (木)
20:30 JAPAN TIME

18:30 Jakarta Time
18:30 Bangkok Time
ZOOM



Questions?
DM us!
majimajios

How to Register

NEXT →

インドネシアはこの夏にコロナウイルスの感染状況が酷くなったためあまり外に出られない状況になりました。日本語での会話もめっきり減っていましたが、マリモさんが主宰する【Majimaji交流会】には必ず参加しています。この交流会はコロナで日本への就職が決まっているにも拘わらず渡航できないメンバーが、日本語を使って交流するプログラムです。とにかく磨いた日本語のレベルを落とさないように心がけています。私は、必ず日本に戻らなくてはなりませんので。

TOPIC:1 億円の経費を削減した秘訣を紹介

名古屋の人事コンサルを本業とする株式会社カタドリ様とコラボし、当社の国際人事部責任者の金口が人事時代に取り組んだ経費削減の事例を紹介しました。合計16社様に参加して頂き本当にありがとうございました。人事の皆様がご活躍できるように、これからも情報公開を行っていきたく思っております。今後のセミナー情報はこちらから → → → → → →



守りの人事から 攻めの人事へ

第2弾 経費削減編
10年間で1億削減した方法を公開★
その1億を従業員満足度向上に使用する事を
経営陣から勝ち取った
人事部長の挑戦



株式会社マリモホールディングス
国際人事部長
金口 裕也
経費削減の経験から、株式会社マリモに2005年に転職。経営者視点、中途採用活動、人事制度の構築、選考、社務作成、福利厚生など様々な人事業務を担当。経営者視点の人事業務の経験から、株式会社マリモホールディングスに国際人事部長として在任中。

参加型ワークショップ
オンライン開催
9月4日(土)
20:00-22:00

株式会社カタドリ
代表取締役社長
高田 博樹
10年間で500社以上の経営課題、人材育成上の課題と向き合う。コンサルタントとして数多くお客様と対面してきました。自らもコンサルタントを志す。経営者視点から経営課題を解決し、お客様に喜ばれるサービスを提供したい。経営者視点から経営課題を解決し、お客様に喜ばれるサービスを提供したい。

TOPIC: 特定技能の外食業の人材紹介と支援を開始しました。



これまで外国人の外食業就労は技・人・国ビザ、技能実習生ビザでの就労が認められず、留学生やワーキングホリデーでの就労がメインでした。コロナで留学生やワーキングホリデーが激減している現状、アフターコロナで予想されるのは外食業の圧倒的人不足です。マリモでは2019年に新設された特定技能ビザ人材の紹介スキームを確立し、外食業における外国人紹介を開始しました。ご興味のある方は是非お問合せください